

科目	スポーツ実技Ⅳハンドボール	担当	加藤 幹根	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

ハンドボールの競技特性として、以下の3つがあげられる。以下の特性を生かしつつ、技術習得と指導法習得を目指す。

1. 走・跳・投の運動の基本的身体要素を生かし、パスやフェイントなどで相手を交わしながら、パスでボールを繋ぎ相手ゴールにシュートして得点を競うパスゲームである。
2. シュートやフェイント或いはドリブルといった多彩な個人技能や対ゴールキーパーとの局面を含めて、1対1の攻防の駆け引きが楽しめる攻防混在型のボールゲームである。
3. 個人技能と共に集団技能とが絡み合い、攻撃におけるコンビネーションやディフェンスシステムに対する攻略法、また攻守の切り替え局面から速攻を繰り出すなどの局面がゲームの中で攻防の戦術として現れ、攻防混在型ボールゲームとしての楽しさを味わう事ができる。

【履修注意】

ハンドボールのゲームだけを行なうのではなく、既習の技術を用いながらゲームで十分活用できるようにする事を目標とし、指導方法も学んでいくため、積極的な授業参加が必要。全出席すること。

【評価方法】

出席を重視し、授業クラス全般への目配り・気配りができているかも評価の対象とする。

【試験について】

実技試験を実施する。

再試験対象者の条件：実技試験を受験したもの。

【予習・復習】

ハンドボールのゲームの映像や本などを用いて予習や復習をすること。

【教科書】

なし。必要であればプリント等を配布する。

【参考書】

なし

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	ガイダンス	ハンドボールの技術・戦術の構造について(映像を通して)
2	ハンドボールの競技特性と歴史	身のこなしやボール遊び、ドリブルからシュート
3	パス技術とパスワーク	パス・キャッチ、シュートに繋がるパスワーク
4	シュート技術とポジショニング	フィールドシュート、サイドシュート、ポストシュート
5	ミニゲーム	2カ所(バックコートとフロントコートに分けて)の3:3ゲーム
6	個人戦術(攻防の3要素)	1:1攻防
7	グループ技術Ⅰ	2:2(4種のディフェンスポジションに応じた攻撃法)
8	グループ技術Ⅱ	3:3(バックプレイヤー、サイド、ポストの3ポジションの攻防)
9	グループ技術Ⅲ	ディフェンスラインシフトとその攻略法(スクリーン、パスラン)
10	ディフェンスラインシフトとその攻略法(スクリーン、パスラン)	ディフェンスラインシフトとその攻略法(スクリーン、パスラン)
11	競技規則と審判法	ルールテスト
12	ゲームの分析法	ランニングスコアから各種データを抽出し、ゲーム構想を立てる
13	技能テストおよびゲーム	個人技能、集団技能の評価
14	技能テストおよびゲーム	個人技能、集団技能の評価
15	まとめ	授業での総括
16	期末実技テスト	15コマのまとめ・確認・実技試験